

闇に光を

もっともっと活発に！ AIC-Japan 神戸

いつも温かなご支援をありがとうございます。

厳しい暑さが続いております。皆様、いかがお過ごしでいらっしゃいますか？

コロナ禍で続いた規制が緩和され、AIC-Japan 神戸も活動の再開や方法の見直しだけではなく、より多くの方々と困難を共に乗り越えていくことができるよう、新たな取り組みにチャレンジし続けたいと願います。

本号ではコロナ禍での活動のご報告とともに、始動したばかりの国内事業をご紹介します。

皆様のご支援に支えられ、AIC-Japan 神戸が地に落ちて多くの実を結ぶ「一粒の麦」でありますよう、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



◆ ニュースレターの発行回数

皆様に AIC の活動を少しでも多くお知らせできますよう、発行回数を年一回から複数回へと増やします。

ごあいさつ

AIC-Japan 神戸 理事長 小川 香織



3人の子の手が離れたころ、NPO 法人として立ち上げようとしていた AIC と出会いました。仕事と家族のこと以外に何か自分にもできることはないかと、漠然と考えていた 14 年前のことです。

世界には、学校に行けないどころか、飲み水を手に入れるために 1 日中働いている子どもたちがいる。本当の意味での貧困からの脱出、自立するには、教育が不可欠です。

フィリピン、インド、ラオス、どの国の子どもたちも愛徳姉妹会のシスターが、お世話されています。日本からの支援金がたとえ少ないものであっても、必要としている子どもたちのもとに、きちんと届けていただけます。

そして、日本国内での、貧困児童の問題や心の貧しさから起こる悲しい出来事。日本のこの小さな会である AIC に何ができるのか？これからも AIC メンバーと話し合いながら、会員の方々の協力と励まし、神様からのお導きをいただき、皆様のお力を結びつける会でいられるよう、身近なことから、日常の一つ一つを丁寧に活動できるように心がけてまいります。そして若い世代の方にも関心を持っていただけるような楽しい会を、目指したいと思っております。

いつもあたたかいご支援をいただいております会員の皆さま、ご協力いただいている皆さまに、この場をお借りして感謝申し上げます。

本当にありがとうございます。これからもどうぞよろしく願いいたします。

ヴィンセンシアン・ファミリー

AIC-Japan 神戸アドバイザー Sr. コロンバ 佐久間

聖ヴィンセンシオの生きた 17 世紀のフランスは宗教戦争や国の分裂により人々は宗教、政治、経済的貧しさ、更に伝染病の蔓延等々悲惨のどん底に喘いでいました。聖ヴィンセンシオは神の御子が貧しく生まれ、貧しく苦しんでいる人、病人を癒し、福音を説き十字架上で命を捧げられたキリストにならい貧しく苦しんでいる多くの人々の為に自分の生涯を捧げ働かれた司祭です。1885 年、教皇レオ 13 世より、彼から始まったカトリックの世界におけるすべての愛徳の事業の特別の保護者と宣言されました。

貧しい人々の中にキリストを見、キリストの中に貧しい人々を見ようと説いた彼の霊性とカリスマに惹かれて集まって来た老若男女を組織建て 1617 年に戦争の犠牲者である捨て子や疫病患者への奉仕に携わる世界で最初の婦人たちのヴォランティア国際愛徳婦人会を創立、現在の AIC です。

1625 年には霊的物的貧困にある人々を救うために同僚司祭と共に宣教会 (CM) を創立、1633 年にはルイズ・ド・マリヤックと共に貧しい人々の身体的、霊的援助のできる村娘を養成し貧しい人々の中にキリストを見て仕える会聖ヴィンセンシオの愛徳姉妹会 (DC) を創立しました。

1835 年愛徳姉妹会会員 Sr. ロザリーランジュの感化を受けたフレデリック・オザナムが数名の同志と共に貧しい人々の世話を目的とするヴィンセンシオの精神に鼓舞された信徒のグループを設立し、ヴィンセンシオ・ア・パウロ会 (SSVP) と名づけました。ヴィンセンシオのジュネスマリアル (JMV) は若いメンバーでヴィンセンシオの精神をもって貧しい人々の為に活動しています。その他にも不思議のメダイの会などがありこれらの会を総称してヴィンセンシオの家族、ヴィンセンシアン・ファミリー (V.F) と呼んでいます。現在世界の約 100 ヶ国に散在し、地球の片隅にあってキリストの光が奪われることなく貧しい人々が教会と私たちの生活の中心にいることになるように、愛徳を世界的規模にすることが出来るように努めています。

新たな国内事業への試み

一粒の麦 ～人と自然に優しい食物を～

市内の炊き出しでもお代わりに並ばれる方は多く、時には2日間食事を摂れずに来られた方にも出会います。食材が高騰する中、新鮮で安全な野菜を少しでも提供できれば、また、バザーを開いてコロナ禍や高齢化で困難にある施設を応援できれば、皆様との交流の場となれば…と願い、AIC-Japan 神戸事務局から北へ約5キロ、地下鉄伊川谷駅近くに小さな畑を借りて、自然の力を活かした作物づくりを始めました。

次世代に手渡していく土地—— AIC-Japan 神戸では長くエコロジー（自然との調和や共存）に関わる活動と願ってききましたが、このたびそれを実行に移す機会に恵まれました。それぞれの土地には気候や土壌等、栽培に適した作物があるのでしょうか。気候の変動や土壌の特性をみつめ、農薬を使わず、土壌を疲弊させない作物づくりへの挑戦に、皆様の体験の分かち合い、お力添えをお願いいたします。

AIC 神戸のメンバーの一人が自然農という農法で作る野菜のお話を聞いてきてくれました。

それは土の中の微生物が植物を育てる、というとてもシンプルな農法だそうです。とても興味が湧きました。安全な環境、安全な食事。神さまから頂いた大地のパワーを最大限込められたお野菜ができそうです。

そんなお野菜を作る喜び、食べる楽しみを皆さまと共有できるようになること、たくさんの方々とのコミュニケーションの場として、そして慌ただしい生活の中で忘れがちな自然の恵みを感じつつ、新しい取り組みとして活動して参ります。

みなさまのご参加、ご意見などもお待ちしております。

(小川)



6月、草の間にインゲン豆がしっかり根を張っています。

6月、サツマイモの苗を植え付け。乾燥から植物を守るため、刈った草は敵に戻します。

8月、綿花が次々と開花。花の色は薄いクリーム色からピンクへと変わります。

場所： 地下鉄伊川谷駅から約3分。天候や作物の生育状況に応じて、種蒔き、草刈り等不定期で活動しています。

参加ご希望の方は AIC-Japan 神戸事務局へご連絡ください。

* 参加費無料、汚れてもよい服装、靴で、帽子、手袋、飲み物等をお持ちください。

海外支援のご報告

各国ともパンデミックの辛い時期を少しずつ超えつつあります。支援先のお手紙から現地の様子をご紹介します。

インド



©NPO AIC-Japan

「入院しておりましたが、よくなってきています。こちらはとても暑くて熱と咳のある人も多く、子どもたちは水疱瘡に罹っています。昨日見舞いに行ったところ、皆様によろしくとのことでした。私たちがお祈りの中で共にありますように。ヴィンセンシアン・ファミリーの皆様のご健康を祈っています」

(Sr. ジョアンナ)

愛徳姉妹会のシスターが運営する児童養護施設で暮らす子どもたち。そのうちAIC-Japan 神戸が35名を支援しています。

子どもたちのお世話をしているシスター。修道服の他、サリーを着用することも。



©NPO AIC-Japan

フィリピン

「子どもたちは通常の学習環境、対面授業へと戻り、元気になっています。ご復活祭の準備として黙想と告解も喜んでしました。皆様の変わりないご支援に感謝します。どうぞよいご復活祭を。皆様に神様の祝福がありますように」

(Sr. セシリア)



©NPO AIC-Japan



©NPO AIC-Japan

支援先の子どもたちに卵を配っています。授業中の子どもたちには、代わって家族が受け取りました。



©NPO AIC-Japan

子どもたちから届いたイースターカード

ラオス

コロナ禍で中断を余儀なくされていた井戸を掘り、村々に送るためのパイプラインを作る作業が再開されましたが、修繕箇所もあるようで、復旧作業からの工事をされているようです。昨年度は支援金の送金はございませんが、現地からの報告書をいただいてから、送金いたします。

(小川)

国内支援のご報告

日本語の不自由な滞日外国人支援

「グローバルな視野を持ち、目の前の一步を踏み出したい」

長谷川 禎子



2016年4月4日、AIC Japan Kobe 入会。主たる職業は、医師（産婦人科医 & 産業医）。健康教育、啓蒙活動に、力を入れています。

本日は、滞日外国人患者さん支援活動に於ける「目の前の一步」について、簡単に、ご紹介させて頂こうと思います。

ケース①

フィリピン人、女性。来日して10年以上（日常生活においては、日本語で、聞く話す、問題無いレベル）

糖尿病の疑いがあり、糖負荷試験*を実施。検査前、主治医や担当看護師から、日本語での検査説明あり。ご本人さんは、「はい。分かりました。」とのことで、検査スタート。しかし、120分後の採血前に、待合室で、お菓子を食べている患者さんをスタッフが、発見。ご本人さん、「お腹が空いてきたから」と。検査中は、カロリーのあるものを食べてはいけないという注意を、十分に理解されていなかった様子。

※ 食後高血糖かどうか正確に判断するためには、75gOGTT（75g経口ブドウ糖負荷試験）という検査をします。10時間以上絶食した後、空腹時に75gのブドウ糖を飲んで30分・60分・90分・120分後に採血をし、血糖値の変化を測定するものです。



<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/dictionary/metabolic/ym-086.html>

→ 私から看護師さんへのアドバイス

やさしい日本語を用いて、口頭と文書での丁寧な説明の実施。

「分かりましたか？」という確認ではなく、「どのように分かりましたか？」と、問うて、ご本人さんの説明に対する理解度を確認した方がよい。

ケース②

フィリピン人、妊婦。来日して5年以下（日本語は、片言程度。日本語の読み書きは、苦手）

体重増加が、著しい為、主治医から管理栄養士へ食事指導のオーダーあり。私は、言葉の支援で同席。患者さんからの食事内容の聞き取りの後、管理栄養士が、指導を実施。

→ 私から管理栄養士さんへのアドバイス

フィリピンには、メリエンダ(おやつ?間食?)の文化が有る。朝食、昼食、夕食では、何を食べましたか?という質問より、起きてから寝るまでに、「いつ、どんなものをどのくらい食べましたか?」という質問の方が、良いと思う。

是非、日本食をと、アドバイスされていたが、、、外国の方が、抱く日本食のイメージは、寿司、天ぷら、トンカツ等。また、これまで食べ慣れていない食材を購入する外国の方は、非常に少ない。まして、

ケース②の妊婦さんは、日本語が、ほとんど読めない。日本語でしか、表記されていない食材を購入される可能性は、とても低い。

外国人の方への食事指導は、日本語を単に患者さんの母国語で伝えるだけで無く、患者さんの持っている食文化にも、配慮しながら、手軽に出来る工夫などを具体的に伝えるようにした方が、患者さんの行動変容につながりやすいと、思う。



ヴィンセンシアン・ファミリー・デー ～ 今年のファミリー・デーは、AIC がホスト ～

ヴィンセンシアン・ファミリーが年に一度集うファミリー・デー。

今年はAICがホストとなり、9月23日（土、祝）、神戸の聖ヴィンセンシオ・ア・パウロの愛徳姉妹会内で開催します。

共に祈り、それぞれの活動や思いを分かち合う交流のひとつ。プログラムは以下を予定しています。

どなたでも、また、プログラムの一部だけでもご参加いただけます。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

プログラム（予定）

9:30	受付
10:00	初めの祈り、聖歌 オリエンテーション、各ファミリーの挨拶
10:20	講話：アマド・カバレロ神父（甲子園小教区主任司祭） 「ヴィンセンシアン・ファミリー・コラボレーションにおけるシノダリティとコロナ後」、質疑応答
12:00	昼食
13:00	各ファミリーの活動紹介
13:30	分科会
14:30	ミサ
15:30	解散



聖ヴィンセンシオ像
(聖ヴィンセンシオ・ア・
パウロの愛徳姉妹会)

日時： 2023年**9月23日**（土、祝） 10:00～15:30

会場： 聖ヴィンセンシオ・ア・パウロの愛徳姉妹会
神戸市垂水区舞子台 8-20-1

アクセス： JR 舞子駅から徒歩 15 分、またはバス（51 系統/59 系統）「舞子台 8 丁目」下車、
進行方向へ坂を約 15m 登ってすぐ左側



修道院ご聖堂

申し込み、お問い合わせ：

AIC-Japan 神戸事務局

Tel: 080-6134-7684

E-mail : aicjapanstvincent@yahoo.co.jp

参加申し込み：8月31日迄

参加費：1,000 円（昼食をお申し込みの方のみ）

温かなご支援をありがとうございます

前回に引き続き、リサイクルの材料を使って工夫して手作りして下さった小物をお預かりしました。今回もフィリピンに送らせていただきます。

子どもたちの喜ぶ笑顔をイメージしながら愛情込めて作り続けて下さっている仲間がいることに、活動への意欲をいただいております。

今後ともよろしく願いいたします。感謝を込めて

(小川)



会員のみなさま 順不同・敬称略

水と食べものの基金

伊藤稔子 小宮導子
佐野容子 岩本和彦
福江由佳里 兵庫いのちを
吉谷順子 大切にする会
最上愛子 小川倫欣
小川哲史・香織 水川美江子
亀井史郎・早智子 百井いずみ
播本弘志・幸子 中本容子
藤田光弘・かなえ 川北かおり
松本幸夫 岩本和彦
齋藤礼子 八木清子
坂井洋子 匿名
佐藤富美子
白根八重子
中井悦子
森田聡子
石龍二
白水明代
徳永愛子

フィリピン教育基金

荒木隆司 町野孝子
飯島修 和田昌子
石龍二 奥村美由紀
大池久栄 吉原聖母幼稚園 聖アンナ
大場雅子 吉原聖母幼稚園 聖モニカ
尾島純子 吉原聖母幼稚園 聖ヨゼフ
勝又正幸 吉原聖母幼稚園 聖クララ
神澤正三 吉原聖母幼稚園 聖テレジア
小森敬子 吉原聖母幼稚園 聖ペトロ
坂井洋子 吉原聖母幼稚園 聖ミカエル
佐久間初江 吉原聖母幼稚園 聖ルカ
佐藤寿子 松野下修子
高月朱美 木村なおみ
長尾史子 森宇多子
中挾直明 富士宮聖母幼稚園
長谷川禎子 静岡聖母幼稚園
花岡順子
濱田和子
菱田教子

インド教育基金

石龍二
牛田笠子
奥澤絢子
北島由理
坂井洋子
菅原景子
聖家族の家
中井悦子
播本弘志
溝渕京子
森のベンチ
山村フランシスカ
定本ゆきこ
小倉眞智子
長谷川禎子
奥村美由紀
倉田昌子
高橋瑞枝
須田仁美
須田瑞季
堂瀬さゆり
匿名

ご寄付・援助 いただいた方

カトリック北須磨教会
今内智恵子
加瀬谷洋子
武本暁子
森のベンチ
浅見友岐子
中本容子
小川哲史
森山和泉
池田光恵
認定 NPO 法人
Present Garden to
永原郁子
徳永愛子
大上尚子
蟹江桂子
IMIA 日本支部
安田美菜子

特別会員

(株)日能研 関西
小野勝

AIC-Japan は多くの会員の皆さまのご支援によって成り立っています。
厚くお礼申し上げます。

一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。

(ヨハネによる福音書 12: 24)

愛徳姉妹会の共同創始者ルイズ・ド・マリヤックは、1645年～1649年にかけて嵐のただ中に置かれます。古くからのシスターの脱会、共同体内の不一致、フロンドの乱による貧しい人々の増加、自身の病。しかし、この「浄め」の時をルイズは「闇から光へ」と過ぎ越し、会は正式に認可され、今日に繋がっています。

「全く神だけの時、魂の暗夜を通ります」

聖ルイズ・ド・マリヤックが遺したことばです。神だけしか頼れないとき——それは非常に辛い時期であると同時に自らの願いや思いが剥ぎ取られ、自己の殻が破られることによって神との一致へと、こんこんと湧き出るいのちの水に生かされる「新たな生」へと至るさいわいな時でもあるのでしょうか。

どうか私たちが闇を過ぎ越し、愛という名の小さな実を結んでいくことができますように…

(マリア塚)

ご支援のお願い

AIC-Japan の会員となってご支援いただくことで、安定した支援活動を計画することができます。活動継続のためには、皆さまのご協力が必要です。活動にご参加／賛同くださる方は、下記の口座いずれかへお振込みください。未来のために暖かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

会費の種類

賛助会員：活動内容に賛同し、ご支援くださる方

- ・個人会員：1 口 6,000 円 / 年 (月 500 円)
- ・里親会員：1 口 18,000 円 / 年 (月 1,500 円)
- ・特別会員：1 口 60,000 円 / 年 (月 5,000 円)

正会員：活動への参加を目的とされる方

- ・正会員：12,000 円 / 年 (月 1,000 円)

振込先 特定非営利活動法人 AIC-Japan

- ・三井住友銀行 明石支店 普通 6738439
- ・みなと銀行 舞子支店 普通 4042732
- ・ゆうちょ銀行 四三八支店 普通 0199849
または記号 14360-2-01998491
- ・郵便振込の場合 郵便振替口座 00950-4-158176

※ 恐れ入りますが手数料はご負担願います。

正会員費は活動費として、賛助会員費の 20%は支援準備金と支援に必要な経費（事務費・通信費など）に使わせていただきます。尚、会員の方には AIC-Japan 神戸のニュースレターをお届けします。

● 月毎の引落しをご希望の場合

「自動送金サービス依頼書」に必要情報を記入し、お届け印を押して提出下さい。ご希望の銀行窓口で簡単に手続きができます。

● 会員をご希望されない場合

賛助または正会員をご希望されない場合は、任意の金額の寄付をお願いいたします。



©NPO AIC-Japan

※ ニュースレターの送付等のため、初めてご支援くださる方は、お手数ですが事務局までご連絡ください。

TEL：080-6134-7684、E-mail：aicjapanstvincent@yahoo.co.jp

AIC とは？

国際愛徳協議会 (International Association of Charities) は、400 年の歴史を持つ世界で最も古い女性ボランティア団体です。本部はベルギーのブリュッセルで、現在アフリカ、ラテンアメリカ、アジア、ヨーロッパ、アメリカの 55 ヶ国で女性を中心とした 10 万人のボランティアが貧困を初め、多くの社会問題に取り組んでいます。

17 世紀、戦争や疫病に苦しんでいたフランスで、若き司祭、後の聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ (1581～1660) が聖ルイズ・ド・マリヤック (1591～1660) の協力を得て、貧しい病人や孤児に仕える会を創立したのが始まりです。日本では愛徳姉妹会のシスターが中心となり 1999 年に神戸、翌 2000 年に和歌山に AIC が誕生しました。



発行：AIC-Japan 神戸【特定非営利活動法人 AIC-Japan】

〒655-0046 神戸市垂水区舞子台 8-20-1

聖ヴィンセンシオ・ア・パウロの愛徳姉妹会内

Tel： 080-6134-7684

E-mail：aicjapanstvincent@yahoo.co.jp

URL：<http://aic-japan.org>

AIC-Japan 和歌山

〒641-0044 和歌山市今福 3-5-21